

~中秋の名月を愛でながら  
船から水都大阪 2009 の会場の夜景も楽しもう!~

# 落語家と行くなにわ探検 クルーズ お月見船

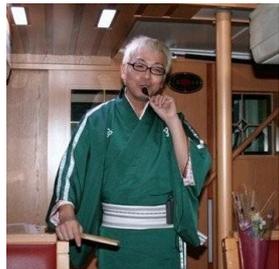
日時: 2009年 10月3日(土・中秋の名月)  
コース: 湊町リバープレイス 道頓川堀川  
東横堀川 大阪水都 2009 中之島公園会場  
八軒家浜会場 大川 東横堀川 道頓堀川  
湊町リバープレイス

中秋の名月が輝く夜に、落語家と行くなにわ探検クルーズ船をチャーター。通常の所要時間は1時間半のところを、30分延長して2時間たっぷり大阪の川面から眺めるお月見船を仕立てたのだが、一週間前の天気予報は雨。2日前でも雲と傘マーク。あきらめかけて満月に雲がかかり兎がお供する民芸モビールを買いこんで雨でも卓上でお月見ができるようにと参加者全員分を買い込んだ。当日、朝からは太陽が顔を出したが、夜にはどんよりした雲ばかりが夜空を覆っていた。星も月も見当たらない。



午後6時、湊町リバープレイスのチケットカウンター前で赤穂浪士ならぬ月見船乗り込み人47志を点呼。全員そろったところで、とっぴりと夜の闇に包まれた南の町を見渡しながら3階テラスから棧橋に続く幅の広い階段を下りていく。対岸には大きな窓ガラスが続く2階建てのレストランが横たわり、温かな灯りが川面にも映えて夜の帳(とばり)を飾っている。

チャーターした一本勝海運の“きりり号”は、すでに黄色い船体を接岸していた。大阪の低い橋を通過する為、潜水艦と同じように船体に川の水を取り込み船ごと沈めて運航。天井は後方にスライドしてフルオープンでゆっくりと景色を楽しむことができるので、中秋の名月と水都大阪2009年の夜景を楽しむように今回はできるだけ天井を開いて走行するようにお願いしていた。当日



案内役は、桂きん枝師匠の一番弟子、桂きん太郎さん。参加者をグループごとに分けた座席に案内する。全員席についたところで、船は静かに岸壁を離れ出港した。

各テーブルの上に置かれた黒ビールの太閤エールの冠が開けられ、随時乾杯で二重の太閤弁当を食しながらのクルーズ

となる。月見団子  
とは、塾生の近所  
とさ、ん宅の大根  
う銘田辺菓をつく  
いる「松屋」さ  
で、食べに比べ  
るよ、うに東京  
白丸めたお餅  
楕円形のお餅



ることになった。途中、東横堀川水門でパナマ運河のように船水位調整している間船が停船。通行記念に、名刺大のパウチされた“水都大阪2009”と明記された大阪市建設局河川管理事務所発行の平松大阪市長と橋下知事が川から顔を出している通行記念証書を全員に配布された。土佐堀川から水都大阪2009の会場である中の島にさしかかる。熟塾の10周年記念イベントを開催したライトアップされた中央公会堂は川から見上げるとその凛とした貴婦人のような優美な姿をまわりの光の渦と重なってより鮮明に浮かびあがら



せていた。中の島に誕生して90年。個人で寄付した岩本栄之助氏はこの完成した姿を見ることがなく40歳で自殺したが、中央公会堂は間違いなく主の思いを抱きつつ大阪の景観を格式高く且つ優美に飾り続けている。淀屋橋手前でユータン。天神橋を潜り水都大阪の2009年の八軒茶屋会場の様子を川面から見上げ、天満橋を進み大阪城の姿を確認。桜並木を進むなか、川崎橋で方向転換し元来た





川筋に進んだ。お月見船と称し、おながも雨は降らないけれども厚い雲に覆われてしまった。ちよ氏が幼い日を過ごした藤田伝三郎の邸宅隣にさしかかったところで、貴志康一氏のCDから「月」の曲をかけているときに、中秋の月が私たちの船の様子をちらっとのぞきこむように雲間から顔を出した。「ああ。月が...出た！

出た！」と全員思わず歓喜の拍手が上がった。雨乞いならぬ、川面に響く月乞いの貴志康一氏の曲「月」をバックに、今夜は会えないかもしれないと諦めかけていたところに、待ち焦がれた愛しい人が顔を出してくれた嬉しさにも似て、刹那だがドキドキ感一杯でお月見も楽しめ



た。大川で中秋の名月とも挨拶できたところで水門を通り、元来た川沿いにち帰途につく、よ横堀川に入ってネオンをバックに桂きん太郎



さん、の案内にも火がついて「あの人のこの人、の大阪町を振りながら、湊町の船着き場のゴ



さ、の案内にも火がついて「あの人のこの人、の大阪町を振りながら、湊町の船着き場のゴ



**参加者:**一般:有住誠策・大宅麻津子・枝松緑・織部きみよ・角野正明・川嶋淳子・川村照子・清原風早子・小谷久美子・児玉勝子・杉本千代子・鈴木ひろえ・田浦ちづこ・武岡信子・中島圓・永田弘子・中村幸平・難波りんご・野崎瑛理子・橋本晴江・濱村泰子・松田洋子・松本寿美子・三木秋代・光山恵治・向内美枝子・山下典子  
塾生:池崎宗男・大西芳郎・大森史子・川嶋祥民・鎌田令子・北原祥三・下野讓・高木勇一郎・谷福江・鳥飼史郎・中島一・原田彰子・浜田真弓・平野康子・船戸一郎・坊下明信・丸山公子・森欣子・森川千世子・米川俊信(敬称略・アイエ順)

**大阪・橋物語:**人それぞれにドラマがあるように、今回のクルーズで潜った橋にも名前があって、それぞれのドラマがあった... 大阪市のHPをもとに下記紹介します。

「浮世橋」は昨年12月20日に完成した歩行者専用の斜めには建てられたコンクリートの2本の支柱の間に揺れはるはっばを以てしたという吊り橋が湊町船着き場と対岸を結んでいる。

交を通残すの「深里(ぶがり)橋」。

「大黒上時黒」は昭和5年に道い波遊り被和子こ参て津に乘な昭ンこのれ大らり大はべらへばたさか甚はが社呼つ。掛、橋に代神と襲たつれ、黒上時黒」をれ引さ。大の戸大橋阪壊に壊る。橋江の黒大て橋がい

「新と正が後骨美在設しら御はこ紙町大修戦鉄の現道成か白にめ和」  
「橋朗にわ昭橋い橋な。フ石ラ、浮戎九行ののしの置た、影ガみを」  
「新と正が後骨美在設しら御はこ紙町大修戦鉄の現道成か白にめ和」

「動う速子難れっが年じし」  
「掘位幅が並の道橋1に現る」  
「付のらを下堀基年成大」  
「橋置員と木地頓の0完在」

「削橋道説りりは」  
「戎と名でも芝は今」  
「掘位幅が並の道橋1に現る」  
「付のらを下堀基年成大」  
「橋置員と木地頓の0完在」





